

徳之島事務所（令和7年4月分）管内情勢

農林水産業関連

1 メロン青年農業者が土壌消毒を学ぶ

3月3日に、天城町農業センターで、土壌消毒をテーマにした勉強会が開催され、メロンを栽培する青年および関係者計9人が参加した。

土壌消毒未経験の青年が多かったため、土壌消毒の目的や種類を説明した後で、YouTubeを用いて作業の流れを確認し、互いに意見交換を行った。

また、地域資源である「糖蜜」を用いた土壌還元消毒を紹介したところ、実施に対して前向きな意見が得られ、施用量や施用方法等を今後検討していくこととなった。当課では、今後も本活動の支援を継続する。

2 次年度産のトルコギキョウ栽培品種を選定

4月21日に、天城町役場で、徳之島トルコギキョウ組合の品種選定会議が開催され、生産者および関係者の計13人が参加した。

今期の生産では、日照不足や低温による生理障害や開花遅延が多発し、出荷量が大幅に減少した。そこで、次年度産の栽培品種を見直すことになり、各生産者が栽培した品種の評価について意見交換がなされた。

当課からは、沖永良部及び農業開発総合センターの品種評価を情報提供し、品種選定の考え方を周知した。今後も組合の支援を継続していく。

3 R6/7期のさとうきびの収穫・製糖が終了

4月18日にR6／7期の収穫および製糖が終了した。7～8月の干ばつの影響により生産量が減少することが懸念されていたが、初期生育が良好であったことや散水等により、単収の低下がなく、当初見込みを約1万t上回る17.1万tの生産量となった。

品質は、登熟期の高温、降雨、日照不足により低糖度のスタートとなったが、後半は平年並みの糖度となった。また、2月以降は収穫・製糖と並行して、春植えや株出し管理等、来期を見据えた作業が始まっている。

3 低温によりマンゴーは着花良好だが、着果状況は判断できず

徳之島町，天城町，伊仙町にてマンゴー栽培講習会を現地ほ場で4月21～22日に開催し，生産者および関係者計50人が参加した。

今年産の生育状況は，前年12月の気温が低かったことから着花は良好であったが，2～3月の低温の影響により開花期が1旬程度遅い傾向であり，現時点では着果状況は判別できない。

当課では，今後の生育状況を確認しながら，摘果の徹底による品質向上および連年安定生産を目指して支援していく。